

## 募集テーマ

### 1 「令和7年度 重点施策と予算編成の方針」における5つの重点施策

(1) 『こどもまんなか社会の推進』

仕事も家庭も大切にしながら働き続けることができ、無理なく子育てができる環境づくりに加え、妊娠から出産、育児までの子育て世帯に対する切れ目ない支援、こどもの体験活動の充実や居場所づくりなど、こどもにやさしい社会の実現に取り組む。

(2) 『成長産業の創出』

GX投資を呼び込むため、成長産業の立地条件整備・人材確保等に向け部局横断でプロジェクトを推進するとともに、再生可能エネルギーの導入促進に取り組む。さらに、カーボンクレジットの創出に向けた取組など脱炭素と産業を組み合わせることで脱炭素先進県を目指す。

(3) 『農林水産業、観光産業をはじめとする地域産業の強化』

農林水産業の担い手確保・育成、生産性向上、販路開拓などによる第一次産業の活性化や、大阪・関西万博や世界遺産を活かした観光産業の強化、外国人労働者の受入促進など持続可能な産業構造の構築に取り組む。

(4) 『人口減少下におけるまちづくり』

将来の人口減少を前提として、DXの推進や地域で活動する団体の連携・協働促進などにより持続可能な社会システムの構築やまちの魅力・活力の向上に取り組む。

(5) 『安全・安心で心豊かに暮らせる社会づくり』

福祉・医療や教育の充実、文化芸術の振興、治安の維持に取り組むとともに、防災・減災対策として、命を守る道路や河川・海岸整備など国土強靱化の取組をハード・ソフト両面から着実に進める。

### 2 重点テーマ

県担当部署が実施を希望するテーマを「重点テーマ」とし、**審査の際に加点対象とする。**

「重点テーマ」は以下のとおり。

(1) 地域振興課

① テーマ

デジタル技術を活用した関係人口創出、地域の活性化

② 背景・概要

人口減少が進む中、将来の地域の担い手確保が課題となっている。一方で別の地域で暮らしながら継続的に地域に関わりたいと考えている方々（いわゆる関係人口）や自己実現の場として都市部ではなく、地方を選ぶ方などが、今後の地域の担い手となることが期待されており、このような人材を多く創出する取組が必要となっている。

デジタル技術を活用し、関係人口や将来の地域の活性化につながると思われる人材を創出し、継続した地域との関係を構築するためのモデル形成を図ることを目指す。

また、モデル形成を通して自己実現の場としての和歌山の魅力を全国に向けて発信することを合わせて目指す。

③ デジタルに期待すること

幅広い年齢層に対して、自己実現の場としての和歌山の魅力向上や地域との関係構築や維持

④ 該当する重点施策

『人口減少下におけるまちづくり』

(2) 総合交通政策課

① テーマ

公共交通の維持・改善

② 背景・概要

路線バスやコミュニティバスは維持費が高く非効率であるため、効率的に地域の足が確保できるような仕組みが必要となっている。また、交通空白の解消に向けた新たなサービスを実施するための仕組み、公共交通機関の深刻な人手不足の課題に対する省力化につながる仕組みや公共交通機関の交通事故の削減につながる仕組み等を構築する必要がある。

③ デジタルに期待すること

公共交通の維持・改善するための仕組みづくり

④ 該当する重点施策

『人口減少下におけるまちづくり』

(3) 社会福祉課

① テーマ

生活保護担当ケースワーカーの業務効率による支援対象世帯との対面訪問時間の充実に

② 背景・概要

支援対象者からの膨大な申告書類の受付、関係機関への照会書の送付及び回答書の受付事務等が多く、支援対象世帯との対面訪問時間が少なくなっている。

また、支援対象者宅内で経験の浅い職員の知識経験不足によるミスリードや訪問記録作成の遅滞、紙により管理しているために生じる書類紛失や情報漏洩のリスクの防止などの課題がある。

③ デジタルに期待すること

生活保護担当ケースワーカー業務のデジタル化

④ 該当する重点施策

『安全・安心で心豊かに暮らせる社会づくり』

(4) 健康推進課

① テーマ

産後ケア事業のデジタル化

② 背景・概要

市町村によっては、電話等による連絡を行ってからでないと、産後ケア事業の予約が取れないなど、気軽に産後ケアを利用できる状況ではない。そのため、産後ケア事業を利用しやすい仕組みづくりを行っていく必要がある。また、市町村によっては実施している産後ケア事業の内容（上限金額や回数など）や実績報告書などが統一され

ておらず、産後ケア事業所の事務負担の軽減を図る必要がある。

- ③ デジタルに期待すること  
産後ケアの利用手続きのデジタル化及び産後ケア事業所の事務負担の軽減
- ④ 該当する重点施策  
『こどもまんなか社会の推進』

(参考)

## 募集するプロジェクトのイメージ

本事業で募集するプロジェクトのイメージを以下のとおり記載する。下記に記載した内容はイメージであり、同様の内容である必要はない。

### (1) デジタルを活用した保育業務の効率化・保育の質の向上

#### ア 概要

園児の登降園時間管理や保育の記録、保護者への連絡等、多忙な保育現場に、保育業務支援システム等を導入し、保育業務の効率化と保育の質の向上を実現。働きやすい職場環境が整備されることで保育士が確保でき、保護者側もこれまでアナログであった園との連絡がスマホで簡単に行える等、負担が軽減される。

#### イ 実施フロー

- ① 県内保育園・認定こども園等（以下、「園」）に対して、保育業務支援システム等の説明会を開催。
- ② 実証事業の対象となる園を募集、選定。
- ③ 当該園において、実証事業を実施。業務効率化や負担軽減の効果をデータやアンケートで取得・分析。
- ④ 他の園に対して成果報告会を実施。新規導入にあたって伴走支援。

#### ウ 重点施策の該当テーマ

『共働き・子育て・こどもまんなか社会の推進』

### (2) データ分析による一人暮らし高齢者の健康管理

#### ア 概要

表面温度や脈拍といったバイタルデータの測定／管理、画像送信による栄養指導や動画による運動指導、家族とのコミュニケーション機能を併せ持ったIoT機器を一人暮らしの高齢者に配付。心身の健康を保つことによりフレイル防止を図る。

#### イ 実施フロー

- ① 実証事業対象市町村及び地域を選定。
- ② 当該地域における一人暮らし高齢者を抽出し、IoT機器を配付。
- ③ 栄養指導や運動指導を実施し、バイタルデータを測定の上、データを蓄積。健康への影響を分析。
- ④ 成果を地元広報誌やホームページに掲載。次年度における市町村の政策に反映。

#### ウ 重点施策の該当テーマ

『安全・安心で心豊かに暮らせる社会づくり』